

「牛久沼のワカサギ卵ふ化設備」サマリー

【目的】

内水面漁業協同組合の潜在ニーズのひとつに、積極的なワカサギ増殖とワカサギ資源を活用した遊漁料収入増大がある。

しかし、多くの内水面漁協は、経済的或いはマンパワー的に零細規模で、ふ化設備に関するエンジニアリングや運転管理スキルのないことも、大きな障害となっているようだ。

本報は、茨城県で初めて牛久沼に導入されたワカサギ卵ふ化設備の仕様・システムを開示し、写真を紹介するとともに、独自尺度による評価を試みるものである。

【方法】

(1) 仕様・システム

配置平面図・立面図、配管系統図、

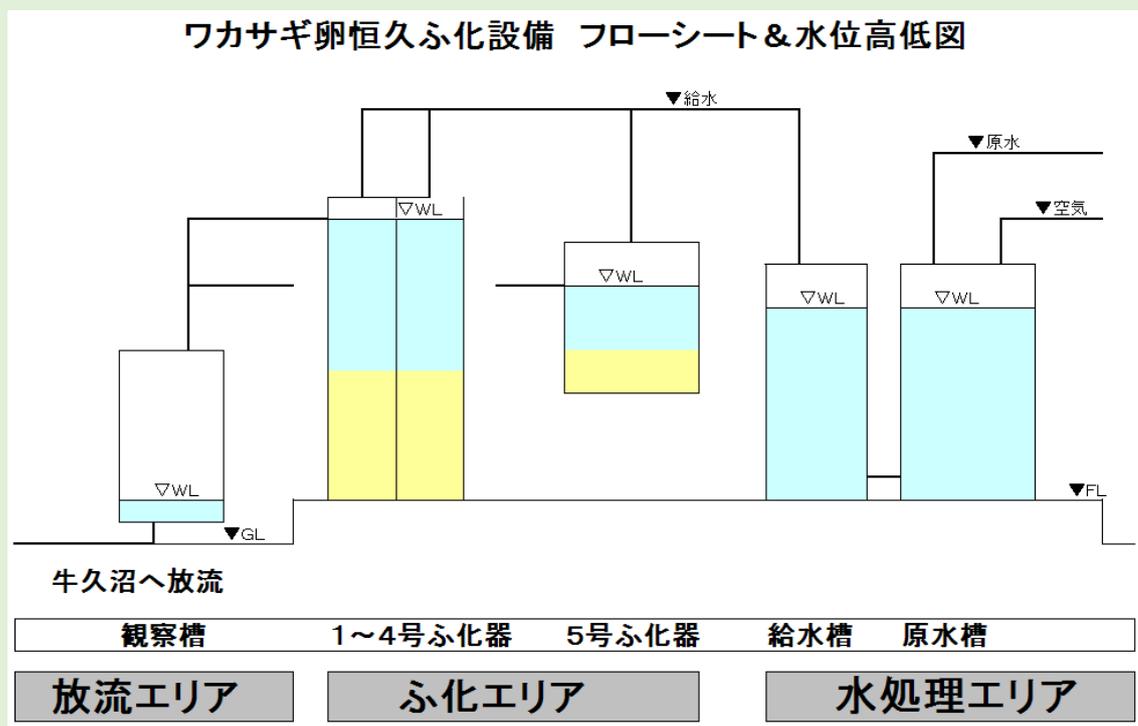


fig.01 フローシート・水位高低図

(2) 写真紹介

(3) 評価 (D o ・放流密度)

【結論】

本事例は、ワカサギ卵ふ化設備導入により、賦課金依存から脱却し、遊漁料収入を柱とする財務改善のために、主力魚種をコイ・ウナギからワカサギへ転換したい零細規模漁協に適用できる可能性が高く、漁協の体質改善およびワカサギ資源増大に寄与すると考えられる。

本報告内容は、「亀山湖牛久沼ワカサギ情報」<http://wakasagi.jpn.org/>

内の「ふ化放流ノート」に公開中で、後日オンラインで参照頂ければ幸いである。